

書き初め大会

1月11日(火)・12日(水)に書き初め大会が行われました。1・2年生は教室で、3～6年生は「春の海」の流れる体育館で取り組みました。来年は、校長先生の琴の生演奏が聴けるかもしれません。その後、1月17日(月)から21日(金)まで作品を校舎一階に飾りました。昨年度に続き、今年度も全校児童の作品を飾ったので、圧巻でした。

1年生にとっては初めて書く「ふじ山」の3文字。とても伸び伸びと書けていました。大口台小学校から見える富士山も雪化粧をしています。6年生にとっては小学校生活最後となる「将来の夢」も、素晴らしい作品となりました。きっと大きな志を抱いていることと思います。鑑賞の授業を行った学年もあったようです。友達のよいところを認め合ったり、高学年の堂々とした毛筆に感動したり、素敵な時間を過ごしたようです。

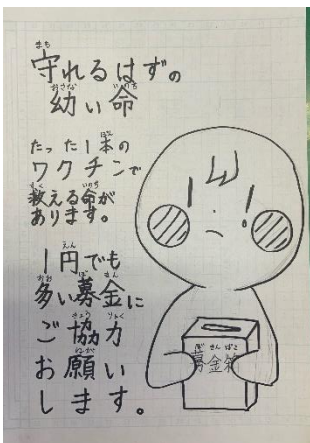


ユニセフ募金活動



今年度は、運営委員会はユニセフの活動とSDGsが掲げる目標との関連について調べ、スライドにまとめました。また12月から給食の際に、17の目標ごとに世界を取り巻く環境について校内放送を行いました。メディアでも取り上げられることが多くなった“SDGs”について興味をもつ人が増えたと児童の声を聞いています。

そして、1月17日(月)～26日(水)にユニセフ募金活動を行いました。「100円でポリオワクチン6回分購入できる」など具体的な支援方法を知り、大事なお年玉を募金に入れる児童の姿もありました。



クラブ活動のようす

昨年度は新型コロナウイルス感染症予防のため中止していたクラブ活動ですが、令和3年度は感染症対策を徹底しながら実施しています。向かい合いにならないように場を設定したり、十分な距離をとって活動したりして、子どもたちが安心して自分の興味のあることに打ち込める場を作っています。

1月25日(火)は3年生の見学日でした。それぞれのクラブについてメモを取りながら見学し、「やったことがないけど面白そうだな」「やっぱり上級生はかっこいい」と興味津々で回っていました。

今後も感染症予防に努めながら、子どもたちにとって有意義な活動となるよう取り組み方を検討していきたいと思ます。



給食週間



全国学校給食週間に合わせて、横浜市の学校給食の歴史について廊下に掲示したほか、給食集会を校内テレビ放送で行いました。給食の歴史や、たくさんの人の願いがこめられて作られていることを、クイズや動画を通して知ることができました。



昭和24年ごろ。パン・ミルク・おかずの完全給食になるまでは、ごはんを家から持ってきていました。当日に集まった食材で、保護者の皆さんが交代で汁物などを作っていたそうです。

横浜市では、昭和25年からパンによる給食が始まりました。当時、パンは家庭に普及していなかったため、給食と家庭での食事のギャップがありました。



平成25年に和食がユネスコ無形文化遺産に登録されました。学校給食でも米飯が週3回となり、主食・主菜・副菜のそろった和食の献立を多く取り入れています。



昭和56年に米飯が取り入れられ、月1回実施されました。昭和57年からは月2回実施され、ごはんに組み合わせる献立の種類もだんだんと増えていきました。

